

第93期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

証券コード 6455

BUSINESS REPORT

・ TOP MESSAGE ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちモリタグループは、1907年に創業し、日本初のガソリン・エンジン付き消防ポンプを完成させて以来、消防技術の進化の道を切り拓き、火災や災害から人びとの生命、財産を守り続けてまいりました。現在、私たちが守る対象は、リサイクル施設や環境車両の開発など、地球の自然環境にも拡大しております。

「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で
人と地球のいのちを守る

私たちは自らのパーパス（社会における存在理由）を、このように定義しています。

変化が激しく、また不確実性の高い時代だからこそ、私たちの存在理由や私たちが社会に提供できる価値を明確にし、変革への情熱を絶やさない人の力を結集することが、より一層重要であると考えております。

先進の技術力で世界に変わらない「安心」をお届けするため、私たち自身が生まれ変わり、持続可能な未来の創造に挑戦し続けてまいりますので、今後ともモリタグループに変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博
代表取締役 社長執行役員 加藤 雅義

・ 第93期中間期の概況

売上高

47,187 百万円

前年同期比
10.7% 増



営業利益

5,136 百万円

前年同期比
23.1% 増



経常利益

5,260 百万円

前年同期比
24.5% 増



親会社株主に帰属する
中間純利益

3,260 百万円

前年同期比
27.6% 増



当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策の影響、為替相場の動向、物価上昇の継続など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、『「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る』というパーパスのもと、サステナビリティ経営を推進するとともに、中期経営計画「Morita Reborn 2025」の最終年度として企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、受注高は66,923百万円（前年同期比1,251百万円減、1.8%減）、売上高は47,187百万円（前年同期比4,554百万円増、10.7%増）となりました。損益につきましては、営業利益は5,136百万円（前年同期比964百万円増、23.1%増）、経常利益は5,260百万円（前年同期比1,034百万円増、24.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は3,260百万円（前年同期比705百万円増、27.6%増）となりました。

「大阪・関西万博」運営参加 大阪市消防局との連携による「現場DX」の実証 ～実運用・実証実験を通じ、次世代ソリューション開発を加速～ ©Expo 2025

モリタホールディングスは、2025年4月13日(日)から10月13日(月)まで開催された「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の運営参加にブロンズパートナーとして協賛いたしました。当社は準備段階より大阪市消防局と連携協定を締結し、緊密な協議を重ね、万博を「未来社会の実験場」と位置づけ、将来の災害時における迅速な救助と火災の早期鎮圧を目指し、情報通信技術・AIを積極的に取り入れたソリューションをご提案いたしました。

会期中は、ソリューションの核となる「現場指揮支援システム」について同局と共同で実証実験を重ね、多くの貴重な知見を得るに至りました。また、日本初となる実運用モデルのEV消防ポンプ自動車や、多目的消防ポンプ自動車 MVF21等の機材を同局・万博消防センターにて運用いただき、現場レベルでの性能と実用性を検証いたしました。

当社はこれら万博の成果を一過性のものとせず、使用した協賛機材の無償譲渡・提供も含めて同局との協力基盤の整備を進めつつ、継続的に技術・製品検証を行ってまいります。

万博で得た知見を、迅速に製品・サービス開発へフィードバックすることで、複雑化・激甚化する災害現場のニーズに応える新たなソリューションの提供を加速いたします。ひいては、消防職員のみならず消防防災に携わる様々な方が災害現場や日常業務で直面する課題の解決を通じて、安全・安心な街づくりに貢献してまいります。



(当社ウェブサイト関連URL・動画のご案内)

①2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)特設サイト
<https://www.morita119.com/activity/social/event/fst2025/>

②EXPO2025 協賛プロジェクト ダイジェストムービー
<https://youtu.be/fZMWMvA0EMg>



EV回転式塵芥収集車及びEVプレス式塵芥収集車の「エルフ EV」向け架装を発売

モリタエコノスは、カーボンニュートラルの実現と収集作業現場の労働環境の改善といった課題の解決に向け、2023年からEV塵芥収集車の販売を開始し、この度、いすゞ自動車株式会社より発売されました、小型トラックの量産バッテリーEV「エルフEV」向け架装を新たにラインナップに追加しました。

EV回転式塵芥収集車「eパックマスター™」及びEVプレス式塵芥収集車「eプレスマスター™」は、EV塵芥収集車において、投入口をトップクラスの低さにすることで作業者の負担を軽減しました。さらに「eプレスマスター™」は、「エルフEV」架装のプレス式塵芥収集車で最大の2,000kgの積載量を実現しました。EV塵芥収集車は作業時・走行時ともに電動化することでカーボンニュートラルを実現した環境にやさしい製品であり、電気自動車ならではの静粛性により、夜間や早朝の収集作業にも適しています。

また、本年開催された「Japan Mobility Show 2025」(右写真)において、いすゞグループのブースに出展され、多くの来場者から関心を集めました。

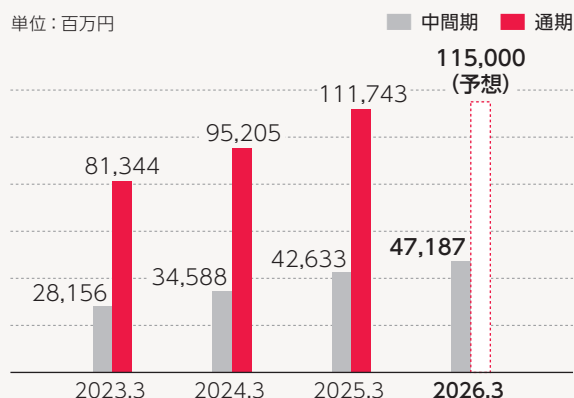


EV回転式塵芥収集車「eパックマスター™」

・財務ハイライト（連結）

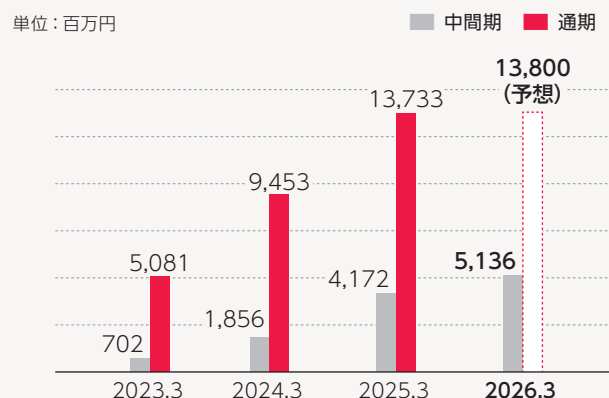
・売上高

単位：百万円



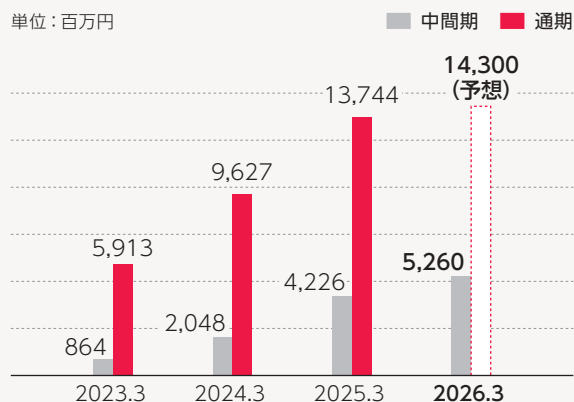
・営業利益

単位：百万円



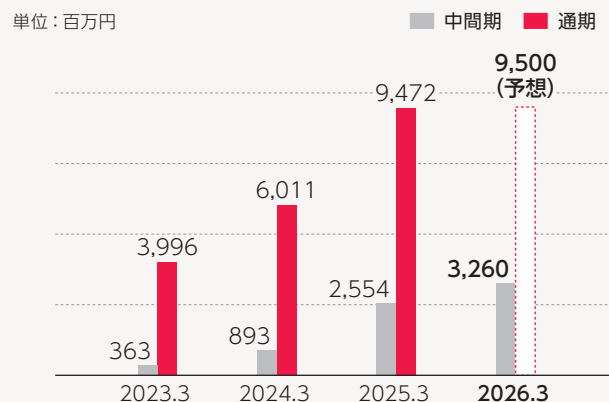
・経常利益

単位：百万円



・親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

単位：百万円



・セグメント別概況

防災事業

売上高

11,911百万円

前年同期比

2.0%増



セグメント利益

2,297百万円

前年同期比

10.8%増



受注は前期の消火設備
大型案件の減少が
あるものの、増収増益。

消防車両事業

売上高

26,136百万円

前年同期比

16.0%増



セグメント利益

2,005百万円

前年同期比

36.7%増



国内の売上が堅調に
推移したことから、
増収増益。

環境車両事業

売上高

6,244百万円

前年同期比

13.9%増



セグメント利益

446百万円

前年同期比

41.1%増



製品の売上が堅調に
推移し、増収増益。

産業機械事業

売上高

2,895百万円

前年同期比

1.5%減



セグメント利益

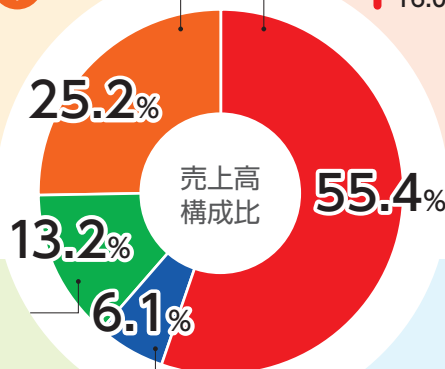
396百万円

前年同期比

22.4%増



概ね計画通りに
推移し、減収増益。



・会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	1907(明治40)年4月23日
設立	1932(昭和7)年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪府中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区芝5丁目36番7号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島 正博	常勤監査役	平岡 理弘
取締役副会長	金岡 真一	監査役	太田 将
代表取締役	加藤 雅義	監査役	西村 捷三
取締役	福西 宏之	監査役	矢野 奈保子
取締役	村井 信也		
取締役	磯田 光男	社長執行役員	加藤 雅義
取締役	川西 孝雄	副社長執行役員	福西 宏之
取締役	北條 正樹	常務執行役員	村井 信也
取締役	金子 麻理	執行役員	西田 律夫
取締役		執行役員	西風 裕之

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のウェブサイトに掲載する。 https://www.morita119.com/ir/stock/kohkoku.html
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (土日休日を除く)
(ウェブサイトURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の市場取引は、100株単位(1単元)となっております。
単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる
買取・買増制度を設けております。

詳しくは、下記URLまたはQRコードからご確認ください。
<https://www.morita119.com/ir/stock/memo.html>

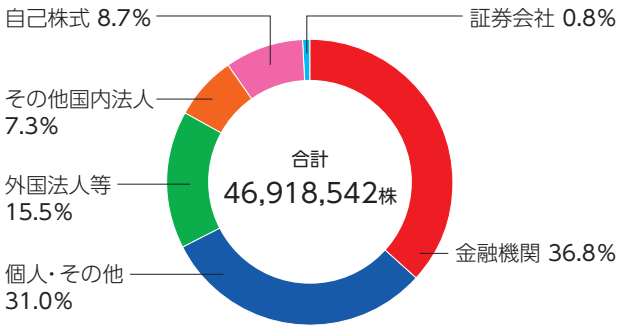


主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都江東区有明3丁目5番7号 消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開 発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の 開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器 具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開 発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2025年9月30日現在



大株主(上位10名)

2025年9月30日現在

株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,360
モリタ取引先持株会	2,357
第一生命保険株式会社	2,123
株式会社みずほ銀行	2,087
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,956
株式会社三菱UFJ銀行	1,748
エア・ウォーター株式会社	1,730
三井住友信託銀行株式会社	1,367
株式会社三井住友銀行	1,307
モリタ従業員持株会	945

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式4,085千株を保有しております。